

諸室・実施プログラム	修理再生室／「どきどき。トライ！」		
プログラム名	手芸 (② 裂き織り)		
類型			
ねらい	着なくなった服を裂いて織物を作ることで、物の大切さとごみ減量の大切さを感じてもらう		
展開方法			
所要時間			
開催頻度			
対象と定員	基本的には大人向けだが、子供向けの夏休み特別講座なども企画する 10名程度		
場所、面積	修理再生室	講師	
設備・備品	機織機 幅 600(移動式) 5台 はさみ(裁ちばさみ) 5個 他洋裁道具 5式		
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 予約制:2時間程度でコースターなど小物を作成(無料) ● 毎週1回又は隔週で定期的に通い、3か月から1年かけてじっくり作品づくりに取り組む。テーブルセンター、マット、バッグなど(材料費と講師料は実費) ● 1日講習でランチョンマットやポシェットなどを作成。 ● 古着は各自持込みによって、基本的には無料だが、古着以外のパーツ(バッグの持ち手やボタンなど)を使う場合は材料費は自己負担。 ● その他、着なくなった服を裂いてわらじを編む 		
運営・進行	専門の技術と知識を持った講師を依頼して指導してもらう 簡単なものは、技術を学んだボランティアスタッフが行う		
有識者からのヒアリング結果	<p>設備備品について</p> <p>機織機(固定式)作品を作り始めると、完成まで糸を取ることはできない。年間5人のために高額な機織機が必要が疑問である。</p> <p>固定式は1~2台にして来た人が誰でも体験できるような使用方法が望ましい。</p> <p>固定式、卓上式共に縦糸を機織機にセットするには専門的な知識と経験が必要であり、扱いが難しいため、講師が必要である。</p> <p>コースター程度のものであれば特別な道具を使用せずとも裂き織り、ニットを解いて使用するなどで作成可能である。</p>		